



議会だより

すすかす

119号

発行：登別市議会／編集：広聴・公開委員会／発行日：2023.11.1

登別市議会

で

検索

または



市議会ウェブサイトやフェイスブックページで、議会の活動や各種情報をご覧ください



地獄まつり鬼踊りに

参加しました

第60回登別地獄まつりが4年ぶりに開催され、市議会改選後、初の鬼踊り大群舞に参加しました。今回は、4年間、待ちに待ったお祭りに例年以上の盛り上がりを感じる事ができました。参加させていただき、少なからず盛会の一助になったのではないかと嬉しく思っております。準備を含め、この地獄まつりを支えてくださいました、登別国際観光コンベンション協会をはじめ関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

(若木)

議員定数に係る市民との意見交換会を開催します

日時	令和5年11月24日(金)	鷺別コミュニティセンター
	18:00	
	令和5年12月19日(火)	市民会館
	18:00	
	令和6年1月25日(木)	観光交流センターヌプル
	18:00	

どなたでもご参加いただけます。ご都合のよい会場へお越しください。

目次

委員会だより	2ページ
一般質問	3～6ページ
補正予算審査、その他	6ページ

国会・政府・北海道に7件の意見書を提出

意見書は、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するために関係機関に提出するものです。第3回定例会では、次の意見書を可決しました。詳しい内容は、市議会ウェブサイトをご覧ください。

学校における教員不足と長時間過密労働解消のために、基礎定数改善による正規教員増を求める意見書	ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める意見書
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める意見書
下水サーベイランス事業の実施を求める意見書	軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書
国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書	

令和5年第3回定例会における議案の賛否状況

第3回定例会で上程された議案はすべて可決・採択され、否決された議案はありませんでした。

委員会だより

美園町擁壁崩壊に伴う

本市の対応は

総務・教育委員会

6月26日に開催した本委員会では、同月10日に発生した美園町の擁壁崩壊現場を視察し、担当部局より崩壊の内容、避難状況などのほか、緊急措置などについて説明を受け、また、8月29日開催の本委員会では、登別小学校環境整備中における自動車の損傷についておよび新たな地域クラブ活動の開始についてなどの報告を受けるとともに、その後の擁壁崩壊に伴う対応について、経過報告を受けました。



▲美園町擁壁崩壊現場の現地視察の様子

安全確保のための工事を市で行うことを所有者に提案し、協議中との経過が報告されました。今後とも所管事務調査に真摯に取り組んでいきます。

(井野)

充実した子育て環境の

構築を目指して

生活・福祉委員会

本委員会は、以前から保護者の方々より、富岸児童クラブが手狭である、青葉児童クラブが青葉小学校から離れていて不便であるなどの声が寄せられており、8月3日、所管事務調査として、富岸児童クラブ・富岸小学校・青葉児童館・青葉小学校の現地視察をしました。

富岸児童クラブでは、かなり手狭な現状と、今年の夏は非常に暑く空調設備も含めた課題を確認しました。

また、富岸小学校、青葉小学校、青葉児童館の有効活用の可能性を確認しましたが、各施設において、それぞれの諸事情は否めないものの、どこまでも子どもを中心に、子どものための施策を提言できるように努めていきます。

11月13日から16日にかけて、本委員会は福井県と富山県に行政視察に行く予定です。



▲富岸小学校空き教室の現地視察の様子

視察先では、高齢者や障がい者、子どもなどの垣根を超えた、我が事・丸ごとの地域共生社会の実現に向けてしっかりと調査・研究していきます。

(今野)

全市観光の実施に向けた

取り組み

観光・経済委員会

本委員会では、議会サポーターの3名を再任の上、新たに1名を登録し、合計4名のサポーター体制として始動しました。

第2回定例会では、登別市空家等対策審議会条例の一部改正を審議し、第3回定例会では、新たに宅地開発されている緑町付近の市道路線の認定と変更について審査しました。

現在、観光庁が国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを推進しています。

本市においても、全市観光に向けた取り組みの一環として、観光による地方創生や地域の活性化を一層推進するため、観光地域づくりマネジメント・マーケティングを行う法人(DMO)の調査研究を行うため、先進地である山形市と天童市へ、11月上旬に視察する予定となっています。

それぞれの視察項目につきましては、山形市は、



▲緑町市道路線の現地写真

地域DMOのおもてなし山形株式会社と、DMOさくらんぼ山形について、また、天童市では観光産業の現状と対応についてを視察する予定です。

(田中)

令和5年第3回定例会 一般質問

[令和5年9月11日(月)~9月15日(金)]

議員13名が市政を問う



千田議員の
一般質問
中継はこちら



紙おむつのリサイクル処理で
ゴミの減量化を
千田 文孝

質 ごみ分別収集検討時に紙おむつのリサイクルの検討はあったのか。

答 紙おむつに焦点を当てた検討は行っていない。

質 水分量の多い紙おむつの焼却量を減量できれば、施設の長寿命化や整備

費用の軽減など考えられるが見解は。

答 設備機器への負担軽減や重油などの助燃剤使用量の低減による維持費用の軽減、さらに将来的には焼却炉の規模の縮小化にもつながる。

質 施設を含むルート の確立のほか、分別収集時の衛生管理、一時保管施設の確保、収集運搬体制の構築、これらに伴う費用負担などが課題とのことであるが、排出する側の費用負担について、現時点での考えは。

答 どの程度の費用負担が生じるのか試算することで、整理した情報や処理量などの状況を考慮して判断することとなる。



佐々木議員の
一般質問
中継はこちら



本市の小、中学校での
熱中症対策は
佐々木 久美子

質 熱中症警戒アラートが発表された8月23日から25日の教室の温度は何度だったのか。

答 時間帯によって教室内の温度が大きく変動するので、担任が確認をしていた。記録をとっていないので正確な

自転車に乗る際のヘルメット
着用が努力義務化

小栗 義朗



小栗議員の
一般質問
中継はこちら



質 本年4月に道路交通法が改正され、自転車に乗車する際にヘルメットを着用することが努力義務化されたが、本市の自転車の安全走行及びヘルメットの着用率向上に向けた取り組みは。

答 小学生には、自転車を使った青空

教室の実施、中学生や通勤・通学者には、ヘルメット着用の呼びかけや交通ルールをまとめたパンフレットを配布している。また、ヘルメット着用率の向上に向け、市公式のウェブサイトにフェイスブック、LINEを通じての啓発や市広報紙を活用し、ヘルメット着用の重要性を周知していきたい。

質 他自治体ではヘルメット購入に助成制度を設けているが本市の考えは。

答 まずはヘルメット着用の重要性をしっかりと浸透させることが優先事項と考えている。現在は助成制度を設ける考えはないが、他自治体の動向を注視し、啓発などに取り組んでいく。

温度は把握していないが、高い室温であったと考えている。

質 望ましい教室の温度は。

答 文部科学省が定めた「18度以上28度以下であることが望ましい」とされている。

質 今後のハード面の取り組みは。

答 空調機器の整備を検討している。

質 低学年における過去の熱中症の事例では、体温調節機能が未発達のため、体調変化を訴えることが難しい。低学年の教室にエアコン設置の考えは。

答 小学校1、2学年へのエアコンの設置についても検討が必要であると考えている。

本庁舎石綿含有建材飛散防止・健康被害制度は

かな 金澤 則男



金澤議員の
一般質問
中継はこちら

質 石綿含有建材の調査については、レベル1、2の除去や囲い込みなどの対策は終わっていて、毎年度、点検、管理している。

答 本庁舎内で石綿含有建材が飛散した時の対応については。

答 応急処置として、ビニールシートなどの保護や散水による湿潤化などの飛散防止を図るほか、周辺などの立入禁止処置をする。

飛散場所での対応を行う場合、まず、職員などが対応する際は防塵マスクを着用するなど、ばく露防止を図ったうえで対応する。

質 本市での石綿健康被害救済制度の周知については。

答 本市では、本制度の申請先が保健所であるため、これまでは周知を行っていないかったが、本市公式ウェブサイトにて制度の内容や申請先を紹介し、周知を図っていく。

**子どもの権利である
意見表明の機会はあるのか**

あ 足立 だいち 知也



足立議員の
一般質問
中継はこちら

質 熱中症対策について、子どもたちが学校などで意見を表明する機会は確保されているのか。

答 これまでの北海道は比較的冷涼であることから、熱中症対策を話題にする機会はほとんどなかったが、今後は、

児童・生徒が熱中症対策について、積極的に意見を表明できる場や機会を設けるように進めていく。

質 登下校時の負担が大きいため、ランドセルの総重量が問題視されているが、熱中症対策の観点からも、子どもたちの声を聴いて対策していくべきではないか。

答 重い学習用具を持つての登下校は、熱中症の危険性につながる可能性があることと認識している。子どもたちの負担軽減の方法を研究しながら、子どもたちの意見を反映し、子どもたちの安全を第一に、登下校についても考えていきたい。

**児童生徒にICTを活用した
取り組みはいかに**

く 工藤 ぼん 俱二雄



工藤議員の
一般質問
中継はこちら

質 一人一台のタブレット端末を用いてICTを積極的かつ効果的に活用して、児童生徒の情報活用能力の育成や教育環境の整備に努めているとのことだが、どのように学校内で活用しているのか。

答 タブレット端末を用いた学習につ

いては、朝学習の時間などではオンライン教材を活用しており、一人一人の学習内容の定着状況に応じた計算問題を解く授業では、一つのシートに複数の児童生徒が考えを書き込み、考えを共有している。

また、まとめや振り返りの場面では、考えを整理するなどの日常的にタブレット端末を活用した授業を通して、基本的な操作を身に付けながら解決へ導く手法を実践し、情報を整理・分析し、情報活用能力の育成に努めている。

さらには、タブレット端末を自宅に持ち帰り、週末や夏休み・冬休みにおいても、演習教材として活用していく。

**市民と協働のまちづくりに
必要なものは**

た 田中 なか 寛志



田中議員の
一般質問
中継はこちら

質 市民との協働のまちづくりをするためには、行政の持つ情報の提供と情報共有が必要であるが、市民と行政との協働関係構築の基盤づくりについてどのように考えているか。

答 市民と行政との協働関係の基盤つ

くりについては、協働関係の構築には、市民自らがまちづくりの主体であると認識することが重要であり、そのためには、市の持っている情報を市民にしっかりと提供することが肝要であることから、本市においては、さまざまな手法を用い、市民との情報共有を図っているところである。特に登別市連合町内会をはじめとする町内会組織は、従前より情報を共有しながら対等な関係で連携し、行政との両輪で協働のまちづくりを進める重要なパートナーであり、地域課題などを議論し意見を交わすことで市民との協働を進める基盤であると考えている。

津波避難時の協議については



若木議員の
一般質問
中継はこちら

若木 康夫

質 現在JR北海道は大津波警報が発令されても踏切以外の横断は危険だと認めていない。鉄道営業法を改正し大災害時は鉄道敷地内の横断が可能とする法整備を提言すべきでは。

ついでに条文がないのは承知している。巨大津波避難対策推進会議で北海道開発局、JRと協議を行いたい。

質 地域住民より道営住宅の屋上を緊急避難場所として欲しいとの要望が以前から出されているが、その考えは。

答 現時点で屋上に手すりや設置されていないことや構造上の問題などにより指定されていないが、今後も管理者の北海道と緊急避難場所として活用する方法について協議していきたい。

この質問は、以前より各議員から出されているが、今回も協議していくとの答弁であったため、今後も協議内容を検証していくこととしたい。

民間企業などの包括連携協定等の取り組みは



成田議員の
一般質問
中継はこちら

成田 昭浩

質 包括連携協定等の連携状況は。

興など、多分野にわたっている。

質 包括連携協定締結での課題認識は。

答 全国的な課題同様、企業にとって収益性が低いこと、協定内容が曖昧で具体性に欠けること、包括連携協定を締結することを先行し、その後の取り組みや成果を見いだせないなどが課題となっている。

包括連携協定は地域の活性化、市民生活の質の向上やまちの魅力を最大限に引き出す、地域資源に新しい価値を加えるなどの効果が期待でき、全市観光を目指す我がまちにとっては、民間との連携を最大限にまちづくりへ活かすべく、さらなる取り組みを要請した。

中期財政見通しの現状における課題と対応は



天神林議員の
一般質問
中継はこちら

天神林 美彦

質 登別市中期財政見通し（令和3年度から令和10年度）前期の2年間を終了したが、現時点における課題と今後の対応について確認したい。

から14年度までを計画期間として、定期見直しを予定している。

現状では、物価上昇の傾向は今後も続くことが想定される中、本市においては、市役所本庁舎建設事業をはじめとする大型事業を立て続けに計画しており、次期見直し期間中の後半において、その公債費の償還が順次始まることから、中期的には財政需要が大きくなる見込んでいます。

来年度予定している中期財政見通しの定期見直しにおいては、持続可能な財政運営を行っていくため、これらの状況に加え、国の地方財政措置の動向なども十分に踏まえ、慎重に進める。

次世代へつなぐ財政改革の取り組みの強化を



今野議員の
一般質問
中継はこちら

今野 幹大

質 財政改革の取り組みの一つとして

今できることは、生産年齢人口の減少を抑えていかなければならない。

その取り組みの一つとして、奨学金を活用して進学した学生に対し、卒業後、登別市内にて就職した場合、奨学金の一部返済の支援も有効なのは。

答 奨学金について、国による総合的な支援が拡充されていく中で、本市として若年世代の定住促進や市内企業の若年労働者の確保を図っていくためにはどのような施策が効果的なのか、市内事業者や経済団体などの意向も確認しながら、また、他の自治体の先進的な取り組みなども参考としながら、検討していきたい。

質 児童生徒の飲食について、子ども水筒の補給に、富岸小学校の水道水では、鉄サビの味がすると、市民の声があるが、その改善策は。

答 毎年度実施する水質検査では、基準結果に問題はないが、給水管が老朽



岩田議員の
一般質問
中継はこちら



子どもの心と身体
安心安全は

質 本市の第二子保育料は各世帯の市区町村民税所得割によって、無償化対象世帯と第一子の半額を負担する世帯があるが、子育てと仕事を両立させる上で保育環境の充実の基本で最も重要であることから、第二子以降について



宮武議員の
一般質問
中継はこちら



子育てと仕事のしやすい環境づくり

質 乳幼児健康診査・健康相談の環境整備については。

答 健診会場として、しんた21では、感染対策も兼ねて、業務用の大型扇風機やサーキュレーターを設置し、換気や風通しを確保し運営している。

質 児童生徒の健康管理については。

答 小中学校において、心身の状態がすぐれない場合、朝の会で担任に報告する方法と、心の悩みなどは、個人情報に考慮する方法として、今年度中にタブレット端末による健康管理として、全ての学校で運用を目指している。

質 現在市内では病児保育はないが、今後の取り組みは。

答 令和6年度に新生町に開園予定の認定こども園にて、体調不良時対応型の病児保育の設置を検討している。

質 令和8年供用開始予定の市役所新庁舎において、本市の課題となっている雨天時の遊び場作りに対する考えは。

答 子育て支援センター・健康診査エリアを解放し、一体的に利用できる仕組みを検討している。

質 も所得割に関係なく無償化する考えは。

答 財源状況が厳しい本市の状況においては難しい。一定程度の所得のある世帯に対しては、負担をお願いしたい。

予算・決算委員会 令和5年度補正予算審査 [令和5年9月21日(木)]

今定例会一般会計補正予算(第4号)において主な質疑は、介護サービス提供基盤等整備事業補助金の取り環境整備の事業内容、整備品、活用が可能な施設・事業所などを審査しました。

特定不妊治療(先進医療)助成事業では、先進医療で1回当たり3万5千円を上限に助成する根拠、本事業は令和5年4月から助成対象となるが、その申請方法や周知方法などの質疑がなされました。

また、子育て支援情報配信サービス(母子健康手帳アプリ)利用料について、導入予定のアプリの機能やメリット、汎用性、紙の母子健康手帳との関係性、家族間の情報共有、以前導入していたアプリとの違い、周知方法、予防接種管理機能の内容、個人情報保護に関する質疑がありました。

そのほか、低所得世帯(非課税世帯)支援給付金給付事業費は、市民税非課税の高齢者世帯などに対し、冬期間の暖房費補助、生活保護適正実施推進事業費は基幹処理システムの改修費用、クリニックセンター中間改修事業費は、公共工事設計労務単価の改定に伴う増の補正を全会一致で可決しました。

(千田)

議会を傍聴しませんか？

令和5年第4回定例会は12月1日(金)から開催される予定です。

本会議や各委員会は、自由に傍聴することができます。

また、議会に足を運ぶことが出来ない方も、スマートフォンやパソコンで、生中継、過去の録画中継をご覧ください。市議会ウェブサイトアクセスし、「議会で中継」のリンクからご覧ください。

市議会ウェブ
サイト

